

演劇マシーニック これは、「くぼくとあなた」 “身体なき器官”の演劇 1986年10月9日[木]▶12日[日]

作・引用・演出・豊島重之 shigeyuki TOSHIMA

《六回公演》

引用*新潮社刊/カフカ全集「フェリーツェへの手紙(1)」・城山良彦訳

音楽・音響・吉井直竹 在京制作補・山崎淳・中森晴海 照明・巽谷正規 舞監・荒谷勝彦 衣裳・美粧・白山敦子
 出演・大久保一恵・高沢利栄・坂下智恵美・白山敦子・中村麻子・立花典子・服部明子・荒谷勝彦・中森晴海・豊島和子
 会場・T2スタジオ 入場料・前売2000円/当日2300円

前売券取扱所・チケットピア03(237)9999・チケットセン03(980)6666・T2スタジオ03(993)9486・都内各プレイガイド

“SCHEDULE”

OCTOBER	9(THU)	10(FR)	11(SAT)	12(SUN)
3:00PM	OPEN	●	●	●
7:30PM	OPEN	●	●	●

の、愛と畏怖の物語、つまりは物語る権力と物
 言わぬ権力の救いがたい物語、その救いが
 たさの芯部からくぼくとあなたへの、
 手紙と寄生虫のマシーニック
 すなわち場所と非場所
 のマシーニックが
 浮上する。

f/F・パラサイト

【平行植物】

上演時間 1時間50分

及川廣信プロデュース
 劇団モルシアター・T2スタジオ提携公演

主催・モルシアター
 THÉÂTRE MOLÉCULAIRES
 主宰 豊島和子・豊島重之
 モルシアター拠点 031
 青森県八戸市常泉下15
 豊島和子 ☎0178 22 1409
 豊島重之 ☎0178 45 9247
 プロデュース・スコピオ・プロジェクト
 SCORPIO PROJECT
 主宰 及川廣信
 ☎164東京都中野区中野3 34 3
 中野住研コーポ511
 ☎03 381 5498



PHOTO ● 秋田重治

モル演劇のT2公演新作に期待する

1985.2.23 東京より抜粋 池田瑞臣 演出家

前半では、大印画紙の白面が液にひたされて次第に黒々と、得体の知れない像を宿していくその瞬間々々に、わが身を写し残そうとびしょ濡れになって乳剤面をまきぐつていた虚像たちの執念と不幸が私の心にしみいつてきたが、後半とくに終結部に至って、既に写真と化してしまつた虚像たちがまるでモルグのように折り重なっているところへ、劇の進行につれて張り渡された四本のビニールパイプから白い液が逆流してきて彼等にしとどに振りかけられるに至つては、まさにそれは現代の死魚たちに北方の川を回流してきた孵化液を浴びせるといつた、再生祈願のセレブレーションなのではないかと、想いを二転三転させられたのであった。

最後に、漏斗を顔から剥ぎとつた豊島和子が、無人の液槽にひとりたたずむ。その時、表情や個性を抹消するかにみえた漏斗が、逆に能面のように多様な表情をもつことに啞然とさせられた。

こうした分子状演劇「モルシアター」の新しい展開が、今度のT2スタジオ提携公演「f/f/バラサイト」だといふ。漏斗といふ、現象といふ、今度の手紙といふ、彼等北方人の執念と不幸には、見事にわれわれ東京の観客の意表をつき、かつ震撼させるものがある。

豊島重之の脱「パフォーマン」批判

1986.9.21 河北新報より抜粋 (一)は転載者

目黒淳「同紙記者」

「パフォーマン」ス・ブームの中、福島県松枝岐で行われた85ヒノエマタ・シンポジウムでは、八戸の豊島重之から鋭い注文が出された。豊島の意見は、(まだブーム化していなかつた昨年と違って)今回のパフォーマン」スのほとんどは、実はパフォーマン」スの名に値せず、従来の「制度としての芸術表現」にとどまっている、(そしてそれは、パフォーマン」スを突きつめることを早はやとときりあげ、単にブームへの異和感の表明に走ってしまったからではないか)というものであった。

そして豊島は、予測されたそうした傾向を批判すべく、その傾向に意識して沿つたパフォーマン」スを自分たちもやって見せたという。豊島の批判と上演をめぐって、あるいはパフォーマン」スの諸問題をめぐって出されたほかの種々の意見についても、長時間の討議にもかかわらず結論のようなものは出なかつたが、パフォーマン」スという一つの表現行為の置かれている手探りの状況を、確かに浮き彫りにしてみせたシンポジウムであった。

「モルシアター」のミクロポリテックな解像力

1986.11.08 東京日報より抜粋

小林進「パフォーミング・アーツ評論」

「豊島重之の提示する問題は、演技と非演技、換言すると、消費の対象としての身体と、それを拒否しようとする身体、さらに言い換えれば、エレクトロニクス時代において、解像されることを拒否しようとする身体と、解像されユニット化された身体という、身体の位相を明確化しようとした作業のなかに見受けられる。

「モル演劇」／「四」では、痙攣と分裂を繰り返す身体の過剰なまでの増殖運動が、現象液の異臭に満ちた暗室で展開した。現象室というネガティブな場に溢れ出す白い液体だけがポジティブであり、解像されユニット化された胎児たちへのレクイエムとなっている。ついには観客であつたはずの者たちの身体にもある変化がおこり、解像現象がはじまる。

「f/f/バラサイトの前作「モル演劇」四」85年11月江東区文化センター」を観て

1986の春号季刊タンズワークより抜粋

河村悟「詩人」

漏斗と素顔のあいだの円錐状の「単孔の闇」、この闇の「アワイこそ、アナタたちの獲得した新しい視力。内部とも外部とも区別されたあの漏斗の「中部」の闇からひきのばされた「ビニールチューブ」さえも、その管をとおつて滴る闇の乳。ここにいたつてはじめて、豊島和子が漏斗を剥ぎとり、ビニールの管に血の汗である乳を流し込んだ理由が解けよう。

東北のアルテミスである豊島和子。千の乳房に千の孔を穿たれた彼女こそ、この反受肉の、多重露光的な単眼の密儀を完遂させるためにおくり込まれた木馬。変装した暗室の祭司であつた。かくして、定着液にくるぶしを浸したまま、豊島和子は神の手話による「パプテスマを施そうとしたのだ。

「他者化」女性化」の演劇に期待する

1986.7.29 30 東京日報より抜粋

渡部満「画家」

先日の東北演劇祭タータ86では、豊島重之の提起した「非場所」なるキイワードを軸に、市民社会や演劇における現在主義批判をめぐって、特筆すべき対論「カタログ」が行われた。小阪修平カタログでは、場所の喪失感と内面の非場所化が、粉川哲夫カタログでは、身体意識の純化と戦略的脱身体化が象徴天皇制との関係で語られた。一口にいって「非場所」とは、演劇を根拠づける場所性の失効をめぐる問題にほかならない。

タータ86上演作「砂の女」アナグラム「バラサイト」に、「他者化」女性化」のモチーフを企んだ豊島重之の視線はどうやら、「病いの癒し」にはなく、「病みつめる」ことにありそうだ。それはまた、粉川のいう「かつての父性や母性から今やジェンダー(性差)へと変移した超越論的主体を、豊島がどう切り崩すかにかかっている。新作「f/f/バラサイト」への関心もまたそこにある。

「バラサイトの脱身体化戦略

1986.7.25 社会新報より抜粋

鴻英良「演劇批評」

「映像とメディア」の時代と言われる今日、六十年代演劇を支えてきた生身の身体は、もはや批評的力を持ち得ない、として、それに死の宣告をすること。豊島重之構想の東北演劇祭で目論まれていた戦略とは、実に魅力的なものであった。彼等の「バラサイト」では、演者はみな顔に漏斗をつけ、視覚の領域を極度に限定することで、触覚的領域を広げようとしていた。こうした身体への対し方が、はたして同演劇祭で交わされた「脱身体化」の動きや、電子的身体」の登場にこたえるものかどうか、いまだ不明のように思われるが、極度に実験的な試みが、上演の場においても進められている。正確かである。このようなフェスティバルを実現した彼等モルシアターの「パラノイアの構想力」のゆゑに期待したい。

「大久保一恵」の「漏斗状サパティード」

1986の夏号季刊タンズワークより抜粋

豊島重之「口演速出」

「顔面に漏斗を装填しているのではない。漏斗に具体と身体を委託しているのだ。狭視野的な器管言語や表情抹消の素顔批判が奇想されているのではない。A地点からB地点への、たとえばA体温からB体温へのフラクタルな測量が執務されているのだ。等温線上のエリアもしくはアリアンヌ。けれど男Aとセウスから男Bとミノタウロスへと迷走する神経は測量の度に千々に千切れて、まるでカストロとトの糸姪カズエ・O。男Aを穿つ単孔であり、男Bに撃ちこまれた単孔であるよりほかに形も由縁もないアルマイト質の吃笑天。その、爪先立ちの地団駄。林立する蚊柱の、千の纏足の、漏斗状のサパティード」

T2スタジオ
☎03-993-9486
〒176 東京都練馬区羽沢3-39-3
交通: 地下鉄有楽町線・営団成増行き。氷川台駅 池袋駅より4つ目下車。正久保橋方面出口から徒歩5分。
*池袋での乗り換えは国鉄南出口が便利です。

豊島和子 karakoTOSHIMA F5 あなた、あるいは配達夫フェルディナンド	中森晴海 harumiNAKAMORI P4 ポストマンあるいはバラサイト	荒谷勝彦 katuhikoARAYA P3 ポストマンあるいはバラサイト	服部明子 akikoHATORI P2 ポストマンあるいはバラサイト	立花典子 norikoTACHIBANA P1 ポストマンあるいはバラサイト	中村麻子 asakoNAKAMURA F4 あなた、あるいはフェリーツェ	白山敦子 atsukoSHIRAYAMA F3 あなた、あるいはフェリーツェ	坂下智恵美 chiremiSAKASHITA F2 あなた、あるいはフェリーツェ	高沢利栄 toshibeTAKASAWA F1 あなた、あるいはフェリーツェ	大久保一恵 kazuoOHKUBO 「はく、あるいはフランツ」
---	---	--	--	--	--	--	--	--	---------------------------------------



